

## 小田原のまちを好きになり、小田原のまちに誇りと愛着を持つこと

戸籍住民課 吉田 文幸 (一般事務 平成3年度採用)

### 小田原市役所を志望したきっかけ

生まれも育ちも小田原で生粋の小田原っ子だった私は、大学卒業後、バブル期の勢いに乗り民間企業に就職しました。配属先となった県外のある市で2年余りを過ごした頃、市役所に就職していた同級生から「社会人の採用も始めるようなので受けてみない」と声をかけられました。

忘れかけていたふるさと小田原への想い、小田原市のために役に立ちたいという気持ちが沸々と湧いてきました。



### 現在の仕事内容

最初に配属された防災対策課では、県の防災関係部署へ出向する機会に恵まれ、大規模な防災訓練に関わる事務を担当したほか、阪神・淡路大震災を始めとする地震災害の現地調査にも同行しました。小田原に戻ってからは阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた地域防災計画の改訂作業に携わりました。

秘書室では、市長や助役（現副市長）のスケジュール管理や来客接遇などを行い、市長や助役が公務を円滑に進めることに意を注ぎました。

また、文化財課では、国指定史跡等を保有する自治体が加盟する全国史跡整備市町村協議会の事務局を務めたほか、登録有形文化財建造物の維持管理などに携わりました。

現在は、戸籍住民課で課内の予算の執行管理を始めとする庶務の仕事や、出先施設の管理などの事務に関わっています。時には課内応援で窓口立つこともあります。窓口業務はまだまだ初心者ですが…。

### 仕事のやりがい

防災対策課では、市民の生命や財産を守るための重要な仕事に従事していることを強く感じました。また、文化財課では、協議会事務局の仕事を通じて、国や県、他市町村の職員と交流する貴重な経験ができたほか、会議や大会などの行事を無事終えることができたときには充実感や達成感を覚えました。

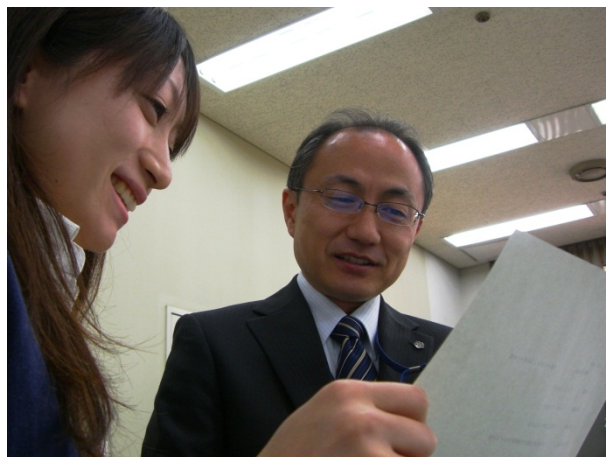
市役所は地域最大のサービス産業であり、その仕事は多岐にわたります。注目を浴びるような花形の仕事もあれば地道な裏方仕事も数多くありますが、市民のために働くことのできる市役所の仕事は、民間企業とはまた違った責任とやりがいを感じます。

### 受験生の皆さんへのメッセージ

「小田原のまちを好きになり、小田原のまちに誇りと愛着を持つこと」が何よりも大切なことだと思います。

人は好きなことでは努力ができるし、どんな苦勞でも乗り切ることができます。

小田原のまちが好きな人、これから好きになろうとする人、私たちと一緒に小田原のまちづくりに汗を流してみませんか。



部下の指導・育成も係長の大事な仕事です。